

## 山西省と現地での生活について

高橋あすみ

皆さんはじめまして、こんにちは。今年度埼玉親善大使として山西大学国際交流教育学院に留学している高橋あすみと申します。まず、このような貴重な機会をくださった埼玉県及び山西省の皆様には感謝申し上げます。この一年は埼玉県と山西省の交流活動のほか、中国の魅力発信や自身の語学力の向上のため尽力いたします。

さて、中国に来て早一ヶ月が経過しました。この一ヶ月は私の人生の中で最も刺激的で充実した一ヶ月だったと感じています。新鮮なこと、信じられないこと、日本とは全く違った中国の常識や生活を体験し、毎日驚きの連続でした。今回は皆さんに、私が留学している山西省と、現地での生活について紹介しようと思います。

山西省は、中国内陸部に位置する地方都市です。面積は北海道の約二倍にもほり、刀削麺発祥の地でもあります。この一ヶ月のうち、省都である太原市の他、山西省各地を訪れる機会が何度かあり、山西省全体の雰囲気も感じ取ることができました。最も特徴的なのは、その古代建築の多さです。中国には数多くの歴史的建造物がありますが、山西省の古代建築はその内半分以上を占め、中国トップの数を誇っています。平遙古城や雲崗石窟などは特に有名です。最近では山西省を舞台にしたオンラインゲームの影響もあり、若者の観光客も増加し、老若男女問わず多くの方が訪れ賑わっている印象を受けました。

特産品としては黒酢や汾酒などが挙げられます。特に黒酢は省内のどの食堂にも必ずと言っていいほどテーブルに設置されており、どの食事でも黒酢と合わせて楽しむことができます。これは山西省の人々に根付いている文化のようなものです。

次にそんな山西省での留学生活についてご紹介します。私が留学している山西大学は、そんな山西省の省都太原市に位置しています。留学生はインドネシア、タイ、モロッコなど東南アジアやアフリカから来た学生が大半を占めており、日本人は私と研究生の先輩の二名のみです。授業は全て中国語で行われ、主に一教科約2時間の授業を毎日2,3科目受けています。授業では中国語の知識だけでなく、先生によっては前半に記したような山西省の歴史や文化について頻繁にお話ししてくださり、中国語と山西省及び中国について同時に様々な知識を得られる授業となっています。

授業がない時間には校内で行われる活動に参加したり、友人と大学近くの公園や夜市を散歩して過ごしています。

留学生によっては定期的に行われるサークル活動のような学生活動に参加している学生もいます。私も友人に誘われ、開学典礼で披露するダンスパフォーマンスのグループに参加しました。また、定期的にサッカーやバレーボールなどの試合が学内で行われ、希望者は観戦したり試合に参加したりすることができます。授業以外ではこのような機会を通し、他の留学生や中国の学生と交流しています。

中国での生活を一言で表すと、「迅速、安価、軽便」ではないかと思えます。大学自体が一つの街のように広く、大学外に出る必要がないほど学内に基礎的な生活のための施設などは全て揃っています。また、中国独自のインターネット通販などを利用すると3日ほどで届くだけでなく、その物価は店舗で買うよりも安いうえに、送料などもほとんど発生しません。タクシーやフードデリバリーサービスも同様に充実しており、日本円で一回約200-300円程度で利用することができます。また、大半の支払いはキャッシュレス対応となっているため、スマホ一つで完結する場合があります。日本との衛生面の違いや中国語力の関係で物事がスムーズに進まなかったり手間がかかってしまうことありますが、これも一つの学びのための経験であると感じながら日々過ごしております。

長くなってしまいましたが、ここまでご覧いただきありがとうございます。今月のレポートは大まかな山西省の紹介や生活についての内容となりましたが、来月のレポートからは更に具体的な行事や文化について紹介したいと考えています。それではまた来月のレポートでお会いしましょう！ありがとうございました！



関羽を祀る関帝廟



今年度の開学典礼のステージ。様々な催し物が行われますが今年度は雨で途中中断となりました。



餃子にももちろん黒酢をつけます。この量で 300 円ほどです。